

### 3 富山市総合的都市交通体系マスタープラン（平成16年度策定：旧富山市）

富山市総合的都市交通体系マスタープランは、「コンパクトなまちづくり」（将来都市像）の実現に資するものであり、「公共交通」、「道路交通」、「交通結節点」等が有機的に連携した総合的な交通体系への取り組みを明らかにしたものです。

#### 富山市総合的都市交通体系マスタープランの基本理念

#### 誰もが多様なライフスタイルを享受できる交通体系を実現する

「公共交通」「道路交通」の充実、「交通結節点」における生活・交流拠点の形成により、交通機関利用の多様性を拡大し、“豊かで”“快適で”“便利な”生活を「市民」みんなで実現します。

#### 基本方針

- 公共交通：各公共交通の機能強化と公共交通機関相互の接続性向上
- 道路交通：自動車交通の円滑化、公共交通利用の推進支援と、歩行者・自転車の安全快適化
- 交通結節点：生活・交流の場となる駅の複合拠点化
- 市民連携：交通行政への参画と役割分担による市民意識の改革

#### 【交通体系整備のシナリオ】

富山市には、恵まれた公共交通のストックとして、放射状に形成された鉄軌道網があります。鉄軌道は、市民の移動に定時性と速達性をもたらし、環境にもやさしい交通手段であることから、交通マスタープランにおける取り組みは、「鉄軌道」を軸に展開することとしています。

#### 【主要事業の位置づけ】

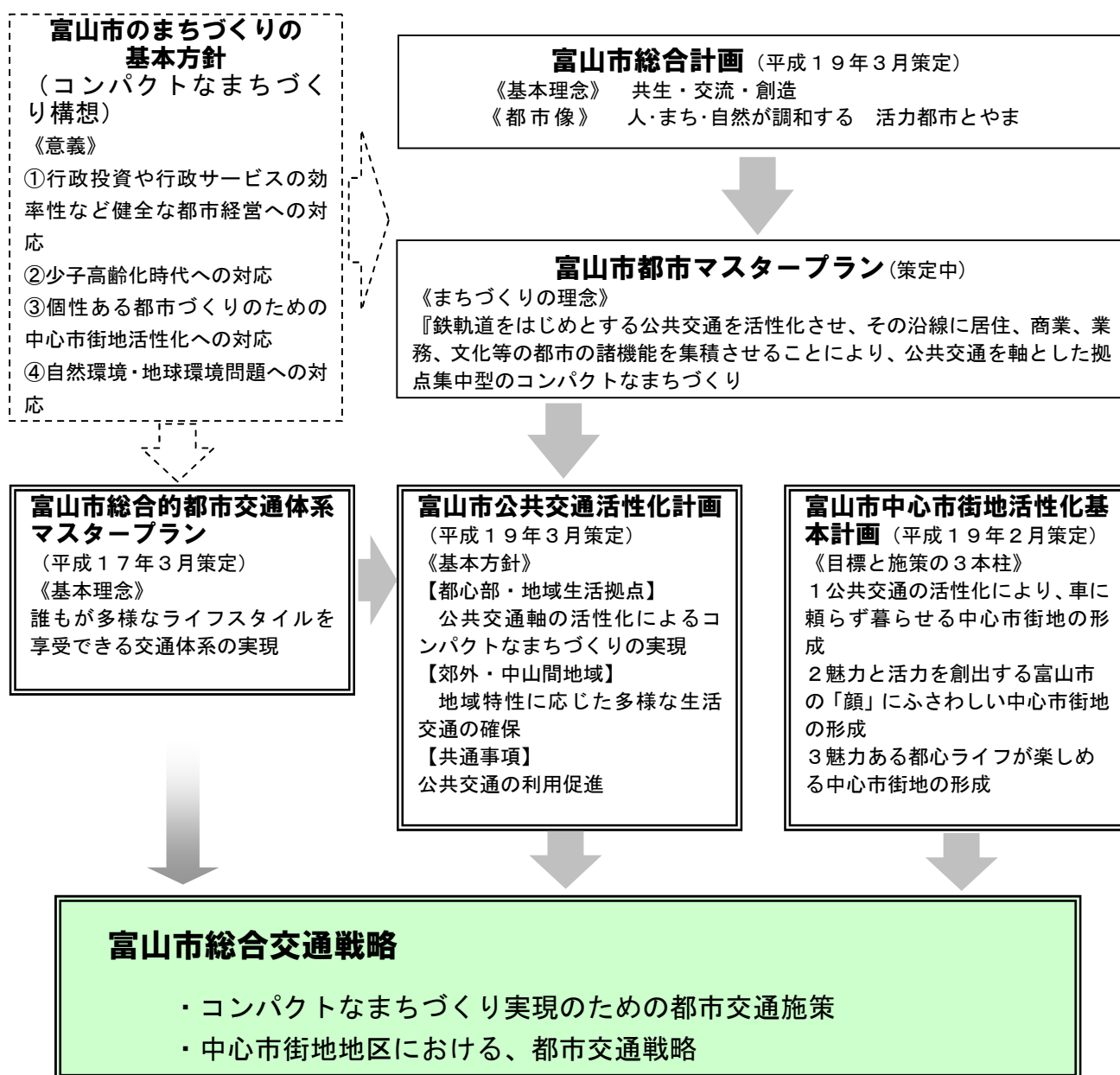
交通マスタープランでは、主に第1段階（H17～H26）において、実効性と実現可能性に裏づけられ、早期事業化に資する内容を盛り込んだ、戦略的、緊急的に取り組むべき施策として、「7つの主要事業」を位置づけています。

交通マスタープランにおける7つの主要事業

公共交通体系に関する施策	主要事業1：路面電車の延伸
	主要事業2：フィーダーバスサービスの導入
道路交通体系に関する施策	主要事業3：快適な生活を支える道路交通環境整備
	主要事業4：公共交通網と結びつく歩行者・自転車交通環境整備
交通結節点に関する施策	主要事業5：中心市街地における交通結節機能の強化
	主要事業6：乗り換え抵抗の軽減
市民連携に関する施策	主要事業7：地域主体で実施する地域密着型交通事業への支援

## 第2節 本計画の位置づけ

富山市総合交通戦略は、「富山市総合的都市交通体系マスタープラン」「富山市公共交通活性化計画」「富山市中心市街地活性化基本計画」に基づき、本市が目指す公共交通を軸とした拠点集中型の「コンパクトなまちづくり」の実現のため、過度に自動車利用に依存することなく、徒歩、自転車、公共交通等が連携し適切な役割分担のもと、交通施策に係る関係者が相互に協力し、交通事業とまちづくりが連携した総合的かつ戦略的な交通施策を推進するものです。



### 第3節 コンパクトなまちづくりのための都市交通計画

#### 1 コンパクトなまちづくりと交通

##### (1) コンパクトなまちづくりのための公共交通活性化

富山市は、自動車への過度の依存によって市街地が拡大し、公共交通が衰退していった結果、「自動車を自由に使えない市民にとって移動しづらい」、「行政サービスを確保するための行政コストが増大する」、「都心部の空洞化によって都市全体の活力や魅力が低下する」などといった、さまざまな弊害がもたらされてきました。

こうした課題に対応するため、本市ではまちづくりの方針として『鉄軌道をはじめとする公共交通を活性化させ、その沿線に居住、商業、業務、文化等の都市の諸機能を集積させることにより、公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり』の実現をめざしています。

このことから、平成16年度に旧富山市が策定した『富山市総合的都市交通体系マスタープラン～誰もが多様なライフスタイルを楽しむ交通体系を実現する～』の基本理念を引継ぎ、本計画では合併後の新市全体の「公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり」の実現をめざします。

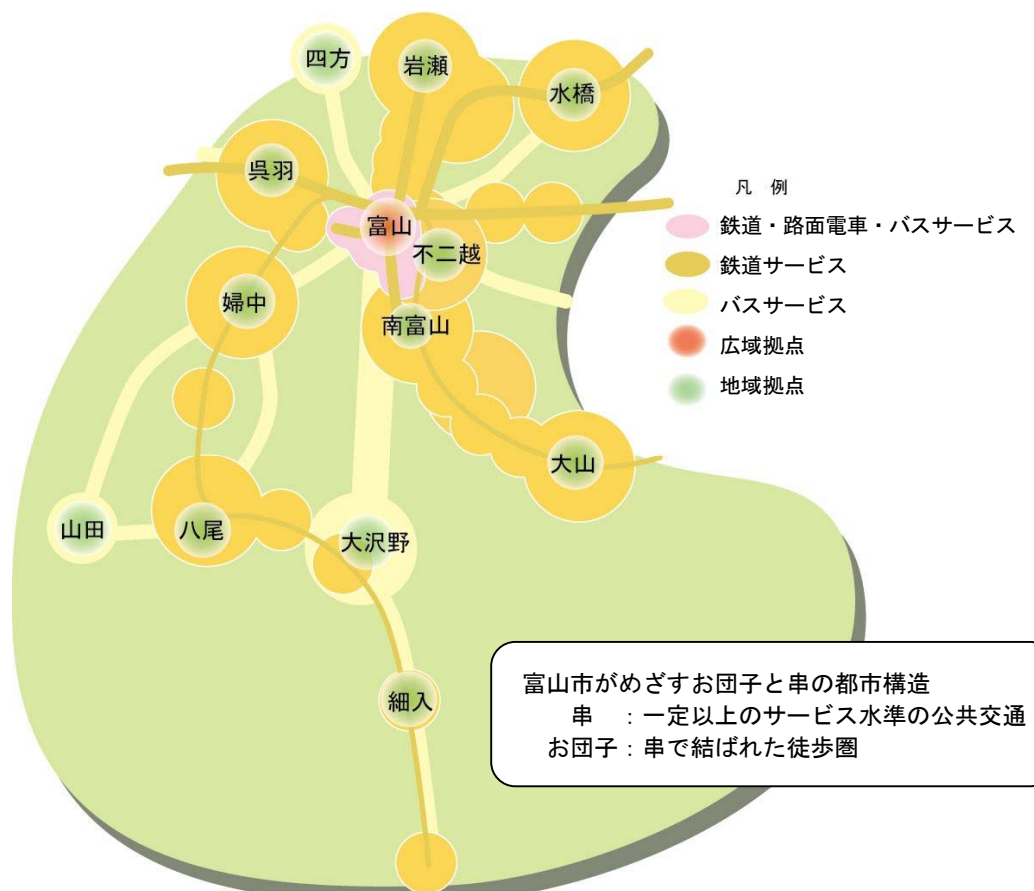


図 2-3-1 公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり概念図

本市がめざすコンパクトなまちづくりは、生活者の視点を第一に、自動車に依存しなくても日常の生活サービスを利用できる生活環境の形成をめざすものです。こうしたコンパクトなまちづくりの実現において、公共交通は人口や都市機能などが集積する徒歩圏（＝お団子）をつなぐ「軸」としての役割を担います。

そのため、徒歩圏（＝お団子）に集積した市民が公共交通を利用しやすくするよう一定以上のサービス水準を確保し、それらを強化するための活性化を図ることが求められます。それによって公共交通サービス圏域の魅力を高め、人口や都市機能の集積をめざします。

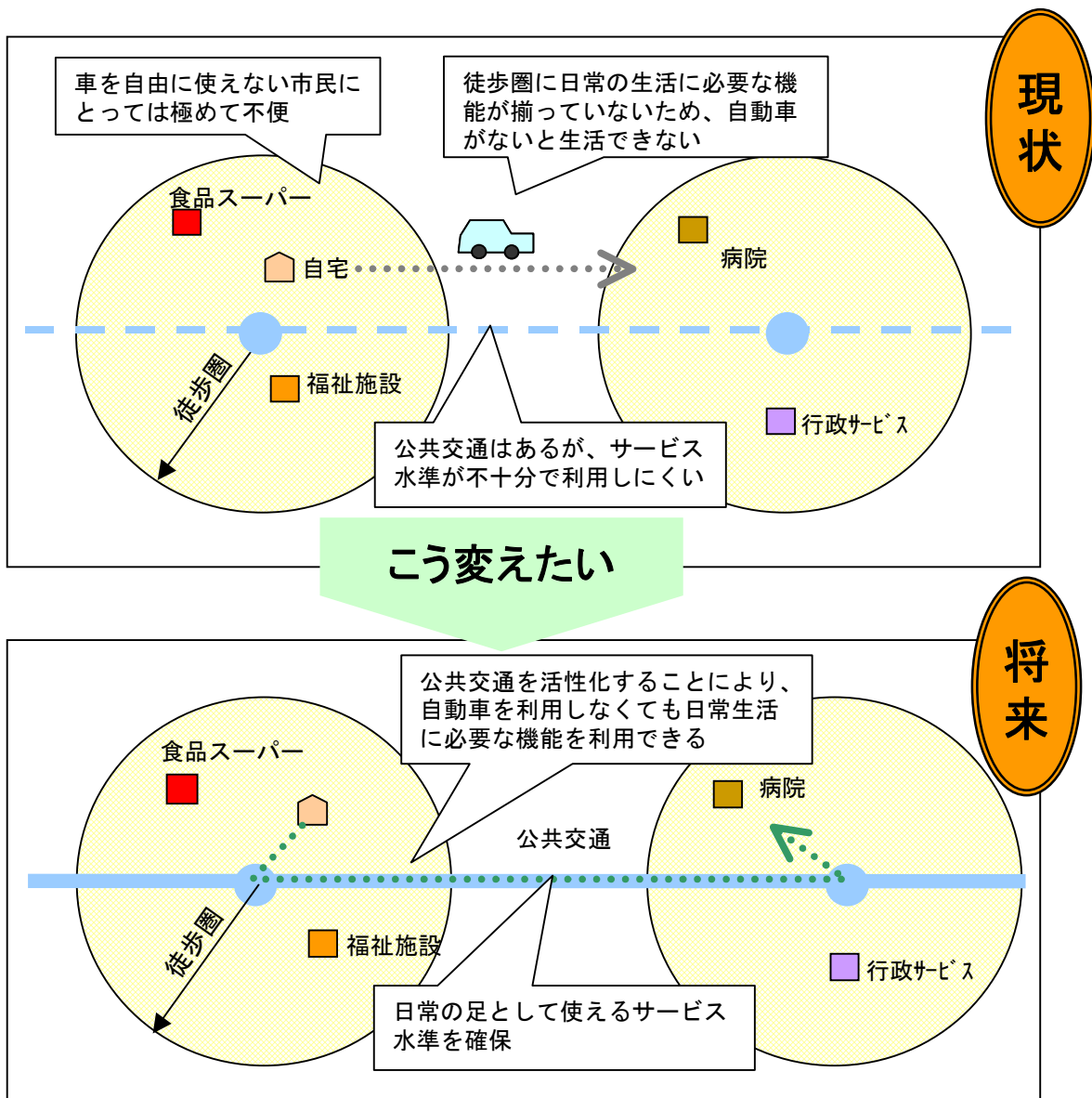


図 2-3-2 お団子と串によるコンパクトなまちづくりイメージ

(2) 富山市のめざす都市構造と地域特性に応じた公共交通活性化の考え方

コンパクトなまちづくりを推進するため、都心、地域生活拠点等へ人口や都市機能の集積を図るとともに、一方、本市は、平成17年4月の市町村合併により、都心、郊外、中山間地域の多様な地域が一つの市になっており、郊外や中山間地域においては、地域特性に応じた効率的な生活交通の確保をめざします。

表 2-3-1 富山市がめざす都市構造と地域特性に応じた公共交通活性化の考え方

	富山市がめざす都市構造	地域特性に応じた公共交通活性化の考え方
都心・ 地域生活 拠点	<p>【現状】人口や都市機能が減少傾向にある。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>【方針】人口や都市機能の再集積を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運行本数の増加や車両、施設の更新など、公共交通のサービス水準や利便性をさらに高めていく。</li> </ul> <p>例) 富山港線のLRT化、JR高山本線活性化社会実験など</p>
郊外	<p>【現状】郊外開発や都市機能の郊外移転などによって、人口や都市機能の集積が進んでいる。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>【方針】郊外開発を抑制し、さらなる人口増加に歯止めをかける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の公共交通サービスを維持するとともに、地域特性に応じ、多様な運行形態による公共交通サービスの確保をめざしていく。</li> </ul> <p>例) 呉羽いきいきバス（地域自主運行バス）</p>
中山間 地域	<p>【現状】過疎化が進行し、人口が減少傾向にある。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>【方針】人口流出を食い止め、できるだけ現在の人口維持を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間事業者が提供できない交通サービスについては、地域特性に応じ、多様な運行形態による公共交通サービスの確保をめざしていく。</li> <li>・既存のコミュニティバス等については、効率的な運行による生活交通を確保していく</li> </ul> <p>例) 千里乗合タクシー（JR高山本線活性化社会実験）など</p>

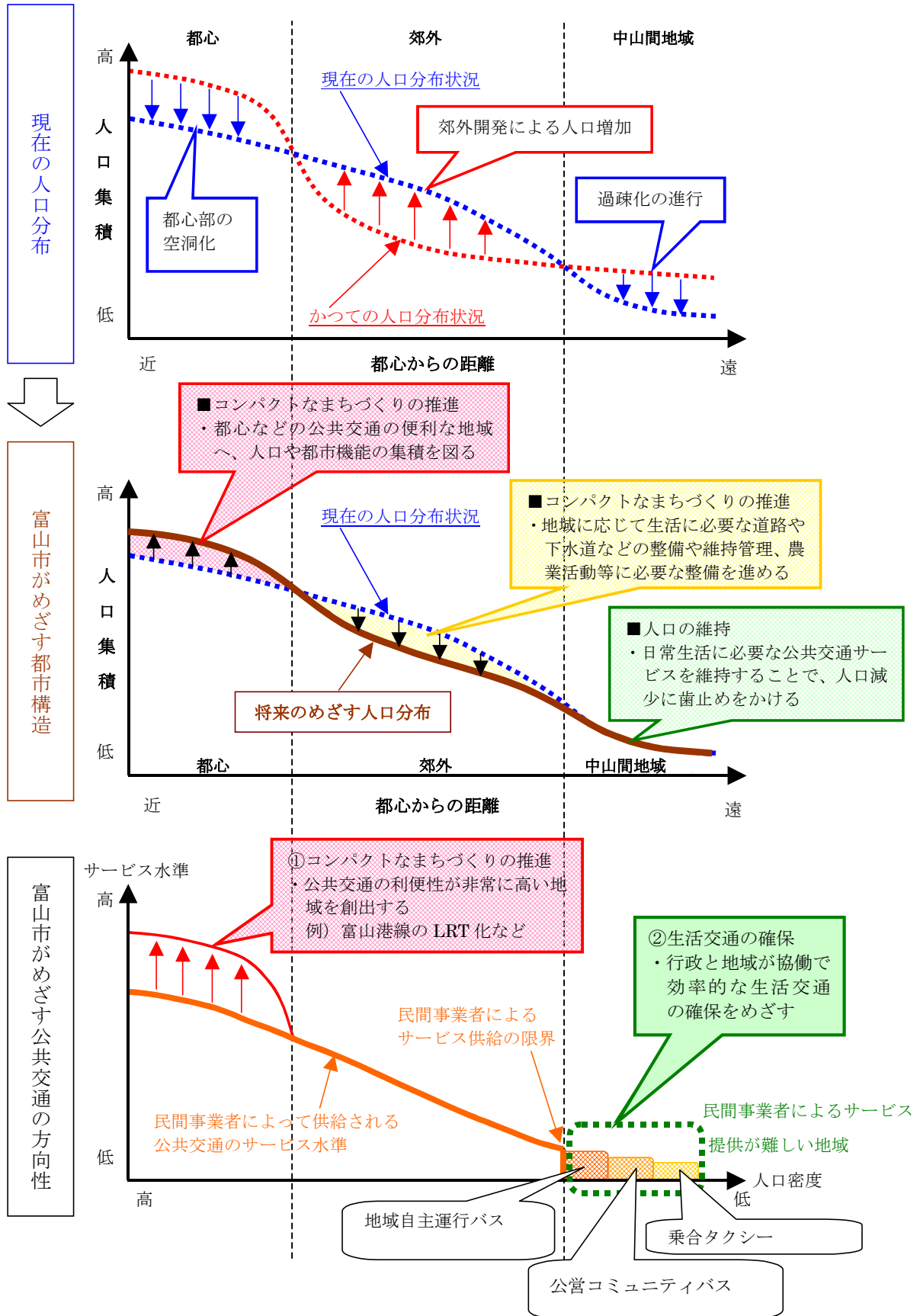


図 2-3-3 富山市がめざす都市構造と公共交通活性化の考え方

## 2 基本方針

都心や地域生活拠点については、前述した富山型コンパクトなまちづくりの考え方に基づいて、公共交通の活性化を図っていきます。

一方、市町村合併によって大きな面積を占めることになった中山間地域では、過疎化・高齢化が進行しており、公共交通が運行されていない地域や民間事業者による公共交通サービスが提供できない地域なども見られます。しかし、公共交通サービスの低下は地域社会の生活条件を大きく脅かし、過疎化を助長する恐れがあります。こうした中山間地域の生活環境を改善し人口の維持を図るために、公共交通の活性化を図る必要があります。

そこで公共交通の活性化に向けて、次の2つの基本方針を掲げます。

### 【都心部や地域生活拠点における公共交通活性化の基本方針】

#### 基本方針① 公共交通軸の活性化によるコンパクトなまちづくりの実現

全ての鉄軌道と運行頻度の高いバス路線や地域生活拠点等と都心を結ぶバス路線の活性化により、沿線に人口や都市機能の集積等を図り、拠点集中型のコンパクトなまちづくりを実現します。

### 【郊外や中山間地域における公共交通活性化の基本方針】

#### 基本方針② 地域特性に応じた多様な生活交通の確保

郊外や中山間地域の生活環境を改善し、人口の維持を図るため、生活の足となる公共交通を確保します。

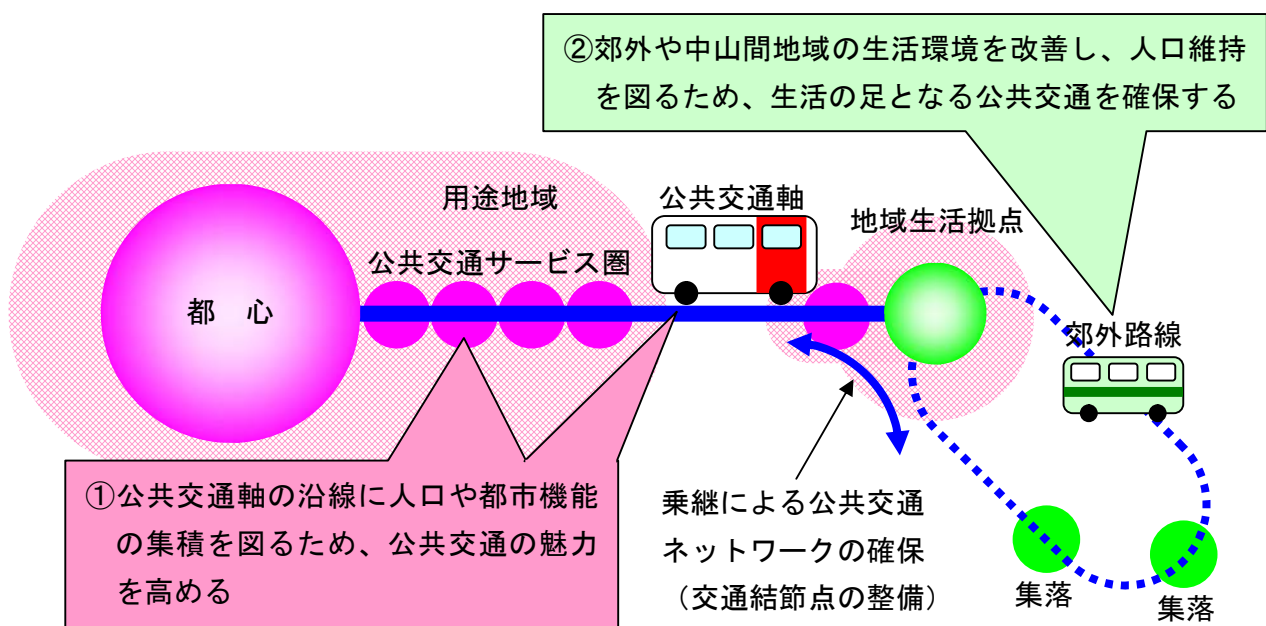


図 2-3-4 公共交通活性化の基本方針イメージ

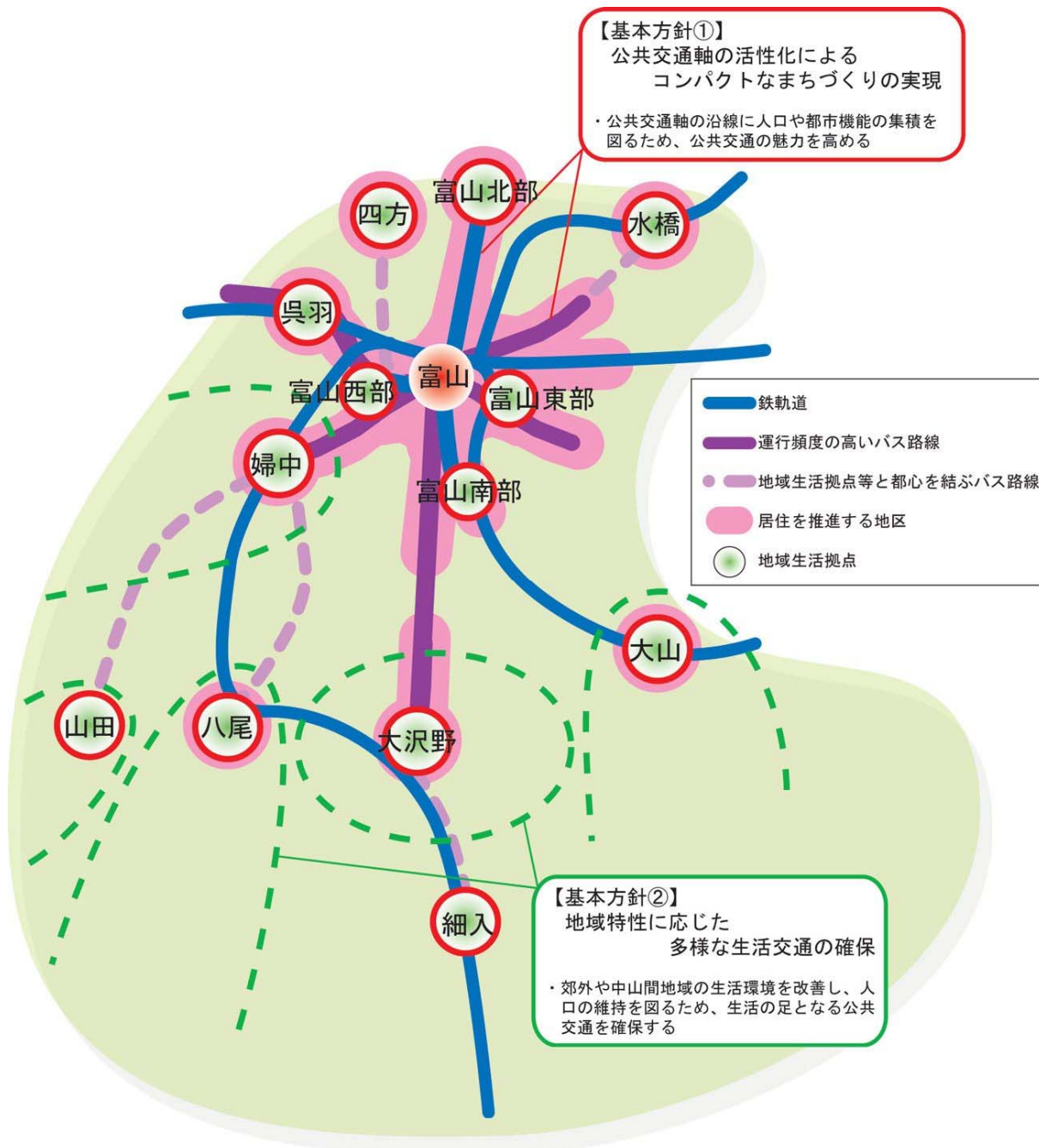


図 2-3-5 地域特性に応じた公共交通活性化の基本方針イメージ



## 第4節 中心市街地の目指す姿

富山市中心市街地は、商業、業務、文化、娯楽、教育、行政等、多種多様で広域の利用圏を持つ都市機能が集積するとともに、飲食料品、医療機関、金融機関といった生活利便施設も集積した徒歩圏です。加えて、利便性の高い路面電車市内線や富山ライトレールといった鉄軌道網が存在しており、遅くとも平成26年度末までに予定されている北陸新幹線の開業により、名実ともに富山県の玄関口となる公共交通の要の地域です。このことから、徒歩圏、公共交通を骨格とする富山型「コンパクトなまちづくり」における拠点づくりを始める上で、最も重要な地域です。

徒歩圏ならではの充実した生活機能に加え、富山県の「顔」、富山市を代表するまちの「顔」としての魅力と活力を創出することにより、市内の他の徒歩圏とは違ったコンパクトなまちづくりを目指します。

### 1 中心市街地活性化の目標と施策の三本柱

#### (1) 公共交通の利便性の向上

中心市街地の特徴である充実した交通基盤を活かした公共交通の活性化と、日常の生活サービスを利用できる都市機能が整った徒歩圏の形成により、高齢者も含めた多くの人が車に頼らず暮らしやすい中心市街地を形成します。

- ・ 郊外から中心市街地への公共交通のサービス向上に取り組みます
- ・ 路面電車市内線などの公共交通を充実して、車に頼らず生活できる、住みやすいまちなかを実現します
- ・ 乗降の簡便化を図るICカードの導入など、公共交通の利用促進のための取組を進めます

#### (2) 賑わい拠点の創出

人が集い、社会的、経済的、文化的活動が活発に行われ、富山市の活動の中心となるとともに、富山市全体がより活力ある地域経済社会を確立していく拠点として、魅力と活力を創出する富山市の「顔」にふさわしい中心市街地を形成します。

- ・ 質の高い暮らしの展開を支える多彩な商業機能を集積させます
- ・ 映画、演劇、イベントなど、人が集まる都心ならではの楽しみを増やすとともに、図書館、美術館などの文化施設を整備します
- ・ 市民が集まり活動や交流ができる空間を整備していきます

#### (3) まちなか居住の推進

人口減少社会の到来に対応し、コンパクトなまちづくりを進めるなかで多様な住まい方が選択できる中心市街地を形成します。

- ・ 都市機能や生活の諸機能を集積させて日常生活の利便性を高め、“車に頼らず生活できるまちづくり”を進めます
- ・ 教育、高度な医療、福祉の充実など“まちなかの暮らしの魅力づくり”を進めます
- ・ 緑や景観等に配慮した“まちなかにふさわしい質の高い住宅づくり”を進めます

## 第3章 将来像の実現に向け必要となる交通サービスの目標

### 第1節 市域全体の目標

#### 1 公共交通軸の設定

##### (1) 公共交通軸の設定

**すべての鉄軌道と重要なバス路線区間を「公共交通軸」に設定**

**鉄軌道6路線・幹線バス24路線**

鉄軌道は本市の公共交通の骨格であり、大量輸送性や定時性において優れていることから、全ての鉄軌道を公共交通軸に設定し、活性化を図ります。

路線バスは市内に多くの系統がありますが、コンパクトなまちづくりの実現に重要な路線を選定し、公共交通軸に位置づけます。

表 3-1-1 公共交通軸の路線

	設定の考え方	公共交通軸の路線
鉄軌道	すべての路線（6路線）	① JR北陸本線                      ② JR高山本線 ③ 地鉄本線                          ④ 地鉄不二越・上滝線 ⑤ 富山ライトレール              ⑥ 地鉄市内軌道線
幹線バス	1) 運行頻度の高いバス路線 人口や都市機能の集積を進める路線（1日概ね60本以上）  ※1 (5)は中教院前－中市間、石金－中市間で路線が分かれるため、条件を満たしていない区間がある。 ※2 (6)は藤代町－藤の木団地前－藤の木新町間が一方方向循環のため、運行本数が半分に減少する。	(1) 富山駅前－富山大学前－老田口 (2) 富山駅前－有沢－速星 (3) 富山駅前－市民病院前－笹津 (4) 富山駅前－南富山駅前－月岡中学校前 (5) 富山駅前－(大泉駅前・石金)－山室中学校前※1 (6) 富山駅前－石金－藤の木団地前（循環）※2 (7) 富山駅前－西町－石金－中央病院 (8) 富山駅前－双代町－針原新町 (9) 富山駅前－永楽町－豊田口 (10) 富山駅前－新富町－畑中 (11) 富山駅前－富山駅北口－赤十字病院 (12) 岩瀬浜駅前－浜黒崎小学校前－水橋漁港前 (13) 蓮町－草島－四方神明町
	2) 地域生活拠点と都心を結ぶバス路線 それぞれの地域生活拠点と都心部を結ぶ代表路線〔1との重複を除く〕	(14) 富山駅前－富山大学前－四方口・四方神明町 (15) 富山駅前－速星－山田総合行政センター前 (16) 富山駅前－有沢－八尾鏡町 (17) 富山駅前－市民病院前－笹津－楡原駅前 (18) 富山駅前－双代町－水橋口・水橋東出町
	3) 主要施設と都心を結ぶバス路線 大学や病院、空港等、多くの人が集まる主要施設と都心を結ぶ路線〔1、2との重複を除く〕	(19) 富山駅前－富山大学前－富大附属病院 (20) 富山駅前－(市民病院前)－富山空港前 (21) 富山駅前－南富山駅前－富山国際大学 (22) 富山駅前－南富山駅前－国立高専前 (23) 富山駅前－双代町－済生会病院 (24) 富山駅前－永楽町－県リハビリセンター

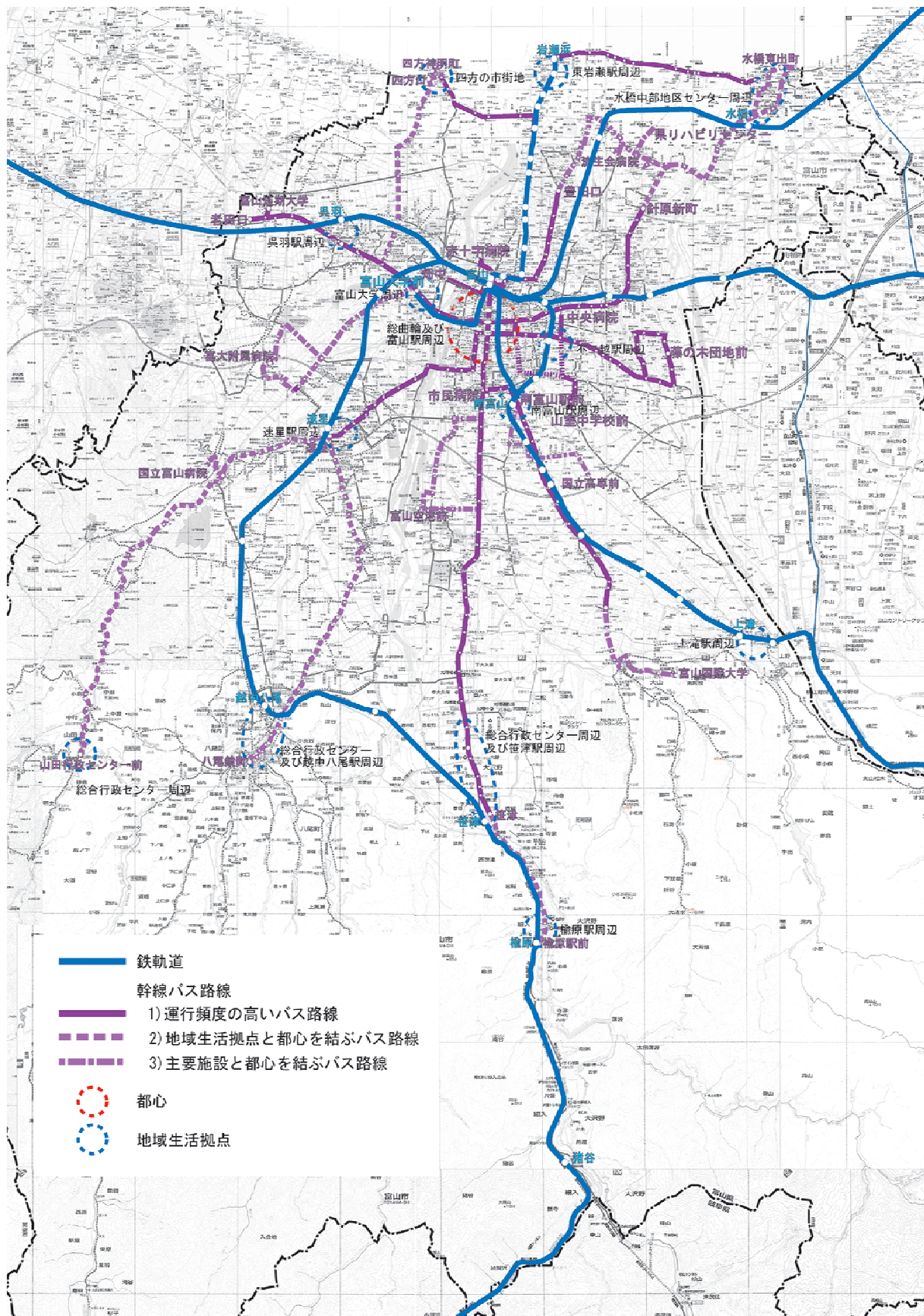


図 3-1-1 公共交通軸と位置づける路線